


**海外感染症情報**

検査管理課

☎フリーダイヤル 0120-14-8734

発生地域	更新年月日	情報内容
アフリカ	2013年11月21日	スーダンで黄熱の患者が発生しました（更新1）
—	2013年11月19日	中東呼吸器症候群（MERS）の発生状況について（更新56）
ヨーロッパ	2013年11月18日	ヨーロッパでサルモネラ症の患者が増加しています ★
中南米	2013年11月14日	中米でのコレラの流行状況について（更新9）
東南アジア	2013年11月14日	シンガポールでデング熱とチクングニア熱の患者が増加しています（更新2）

情報源：厚生労働省検疫所ホームページ(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報、最新ニュース

### ★【2013年11月18日更新 ヨーロッパでサルモネラ症の患者が増加しています】

サルモネラ症は、サルモネラ属菌によって起こる病気です。サルモネラ属菌は、自然界に広く分布しており、菌に汚染された水や食品を摂取することによって感染します。また、飼育されているハ虫類から感染した事例も報告されています。症状は、腹痛や下痢などの急性胃腸炎のほか、特に小児や高齢者では重症となることがあります。

11月15日付で欧州疾病対策センター（ECDC）から公表された情報によりますと、ヨーロッパの一部の国において、ヨーロッパでは稀な血清型のサルモネラ（Salmonella Mikawasima）に感染した患者が増加しています。

英国では、今年10月以降、この血清型のサルモネラに感染した患者が46人報告されました。フランスでは、例年は年間4人から12人の報告数ですが、15人の患者が報告され、このうち7人は9月中旬以降の患者です。デンマークでは、最近2週間の間にこの血清型のサルモネラが5検体から分離されたことを受けて、調査が開始されました。分離された菌の遺伝子解析が進められています。ドイツとスウェーデンでもこの時期に想定される患者数を上回りました。オーストリア、フィンランド、ギリシャ、イタリア、アイルランド、イタリアでは患者の増加はみられていません。

ヨーロッパ・サーベイランス・システムによれば、最近5年間におけるこの血清型のサルモネラ症の患者は51人から135人でした。若年層と中年層で患者数が多く、患者の60%は25歳から65歳でした。305人の患者のうち20%は輸入感染例で、そのうち18人がスペインで感染したと疑われました。

分子学的サーベイランスのデータベースを比較すると、パルスフィールドゲル電気泳動（PFGE）による解析では、4か国の23検体が類似しており、このうち18検体は今年10月から11月までの間に2か国から報告されたものでした。